

2016年度青年活動支援者フォーラム

～ひろげよう、支援者の輪と活動の輪～

開催要項

【趣 旨】

日本青年団協議会（日青協）では昨年度より「全国青年団種まき運動」という、全国の自治体を訪問し、社会教育の中の青年教育の充実を訴えています。運動を通じて、若者を対象とする事業や講座を企画しても人が集まらず、自治体によっては「若者の姿が見えない」「要求があったら動く」という現場の本音を受け止めてきました。また、今年で9年目を迎えるフォーラム事業の中で、これまでも様々な現場の課題が報告されています。

青年教育・社会教育のあり方が大きく揺らぐ中、若者の地域活動や成長を支援する人たち（支援者）同士をつなぎ、個々の課題と向き合い、個々の課題を全体で共有し解決にむけた実践と検証を繰り返す場が必要不可欠です。

このフォーラムでは、様々な立場で青年教育の現場に携わる人たちを一堂に会し、今日的な課題を深めるだけでなく、支援者同士をつなぎ新たなネットワークを構築し活動の輪を広げることを目的に開催します。

【主 催】 日本青年団協議会 一般財団法人日本青年館

【後 援】 文部科学省 厚生労働省 公益財団法人あしたの日本を創る協会 日本社会教育学会 社会教育推進全国協議会 自治体問題研究所 公益社団法人全国公民館連合会 全国社会福祉協議会 時事通信社 全国地方新聞連合会 NHK 山梨県教育委員会 山梨日日新聞社 山梨放送 テレビ山梨（以上予定）

【期 日】 2017（平成29）年3月3日（金）～5日（日）（2泊3日）

【会 場】 山中湖畔荘ホテル 清溪

【参加経費】
○参加費 6,480円（学生 3,240円）
○宿泊費 無料（リネン代実費 1泊あたり1,000円）
○食費 朝1,080円、昼1,080円、夜2,268円
○交流会費 実費（詳細は追ってお知らせいたします）
○バス代金 片道500円（主催者手配バスに乗車する場合）

【対 象】 青（少）年会館職員、社会教育主事、社会教育指導員、公民館主事、青少年教育担当者、NPO法人などの若者支援組織、施設職員、団体職員、社会福祉関係者、及び青年団OB・OGなどフォーラムの趣旨に賛同されるすべての団体や個人

【プログラム】

◆ 1日目 3月3日（金）

【実践報告】

今年度における青年団の活動の中から特徴的な取り組みを抽出し、ご報告いただきます。

※第62回全国青年問題研究集会との併催となります。

【講演】

※第62回全国青年問題研究集会との併催となります。

◆ 2日目 3月4日（土）

【全体講義】

これまでのフォーラムで議論されてきたことから、今日的な社会教育の課題や期待されていることについてお話しいたします。

【分科会】

3つの分科会に分かれ設定してあるテーマを掘り下げて議論を深めます。

第一分科会「真に自立する青年を育てるには」

不登校や引きこもりを経験するだけでなく、ニートや引きこもり、障がいなどの様々な困難を抱えた若者も少なくありません。こうした現場の声から学ぶことはどの若者と接せるうえでも大切な教訓となります。多様な悩みを抱える若者へのアプローチのあり方として、青年活動におけるニートや引きこもりへの取り組み方や可能性について現場に携わる方からの話題提供をもとに協議していきます。

第二分科会「社会教育・青年教育って何だろう」

青年活動を企画・運営している実践者も、それをサポートする支援者たちも各々の立場で様々な課題があります。お互いが何をめざしており、何に悩んでいるのか、公民館の若者の居場所事業や最先端の地域若者政策などの話題提供をもとに、一人ひとりが語り合いを通じて、まずは若者問題を捉え社会教育・青年教育について考えます。

第三分科会「地域づくり×若者をイノベーションしよう」

昨年度、文部科学省から新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策についての答申が発表されました。この新しく吹き始めた風を地域再生や若者による地域づくりにどうつなげていくのか、また、青年団の歴史や実践などをもとに社会教育研究者と一緒に協議していきます。

◆ 3日目（最終日） 3月5日（日）

【総括講義】

各分科会での学習の成果などを共有し、改めて青年活動を支援する意味や支援者の役割について考えます。

※最終日は、参加者の皆様とともに日本青年団協議会が実施する「全国地域青年実践大賞」と「全国青年団教宣コンテスト」の表彰式を行います。

【申込方法】 参加申込書のほかに、参加者調査シートを提出していただきます。

【申込締切】 2017（平成29）年2月17日（金）必着

【日 程】

時間	3月3日(金)	3月4日(土)	3月5日(日)
9:00		全体講義	総括講義
10:00			
11:00	<名古屋集合>	昼食・休憩	全国地域青年実践大賞 全国青年団教宣コンテスト表彰式
12:00			
13:00	<東京集合>	分科会	昼食・移動
14:00	移動		
15:00			<東京到着>
	受付		
16:00	オープニング		
17:00	実践報告		<名古屋到着>
18:00	夕食・入浴など	休憩・入浴など	
19:00	講演	夕食交流会	
20:00			
21:00		フリースペース	
	フリースペース		

※プログラムは都合により変更になる場合があります。

※この事業は「第62回全国青年問題研究集会」と同時開催します。

【お申込・お問い合わせ】

日本青年団協議会 組織部 (担当: 釜澤、高嶋)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-23-6秀和虎ノ門三丁目ビル4階

TEL: 03-6452-9025 FAX: 03-6452-9026 Email: soshiki_kyosen@dan.or.jp